

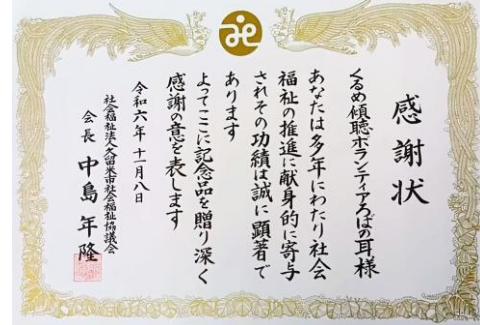


社会福祉協議会会長感謝状を受賞

第五十二回久留米市社会福祉大会にて



感謝状



くるめ傾聴ボランティア ろばの耳様
あなたは多年にわたり社会
福祉の推進に貢献的に寄与
されその功績は誠に顕著で
あります
よって此に記念品を贈り深く
感謝の意を表します

令和六年十一月八日

社福協議会会長年賀会

会長 中島 年隆

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

印

五年ぶりのバス研修

二十六人の会員が参加

障害福祉サービス
(就労継続支援B型)
事業所ステップを訪問

令和六年六月十四日



田主丸町竹野にあり、
昨年の災害で被害に遭
われたそうですが頑張
つて復興を遂げられて
いました。

ここは障害のある人
の働きの場として、温
泉・レストラン・ベー
カリー・織物等の生産
活動を展開してあります。

障害のある方が開店
準備や受付、案内、接
客や調理などに就労さ
れており、住み慣れた
地域で生活することを
目標にして居られるそ
うです。

私達はレストランで
職員の方々の暖かい接
客を受け、美味しい食
事を頂きました。

その後、月例会を行
いパン工房で作られたパ
ンをたくさん購入して
帰りました。

そして、午後からは
紅乙女、資生堂工場見
学と、盛り沢山の研修
になりました。

いいお天気に恵まれた
あおぞら月例会

会員さんがそれぞれ持ちよつて
勉強しています。平和つて・・・
に感じています。



桜紅葉の下で！

ラジオ体操第一はじめ～
タンタンタタンタン

傾聴では、「**共感**」が重視されています。
しかし、「**共感**」というものが正しく理解されていないよ
うに感じています。

共感とは「相手の気持ちを相手と同じか、それ以上に
深く理解し感じること」であり、決して「相手と同じ結
論に至る」**「同感」**である必要はないということです。
同感は「私もそう思います」ということであり、共感と
は「あなたはそう思うのですね」ということです。

そのためには、「相手になりきる」姿勢も重要です。
「話手の不平不満は理解しがたいけれど、それほどや
きれない思いを抱えていたらしたのかと思うと、話し手の
方が努力してこられたことを思える」と少しだけでもい
いので「**じんわり**」感じ入ってほしいのです。

「感じること」以上に「感じ入ること」

つまり、思考での理解だけでなく、聴き手の内面で
「じーん」と、もしくは「じんわり」と**心が動く**ことが
大切です。

そのためには、「相手になりきる」姿勢も重要です。
「話手の不平不満は理解しがたいけれど、それほどや
きれない思いを抱えていたらしたのかと思うと、話し手の
方が努力してこられたことを思える」と少しだけでもい
いので「**じんわり**」感じ入ってほしいのです。

『すごい傾聴』 小倉広より抜粋

くるめ傾聴ボランティア ろばの耳会員募集

特別な資格は要りません。基本的な態度と姿勢、
一通りの基礎知識を身につければ、どなたでも活
動できます。ろばの耳の「傾聴活動」は、日常生活
で「人の話を聞く」ことにも生かされ、笑顔
で過ごせるようになります。

連絡先

ろばの耳事務局

〇九〇一九七九六八三六一

『じんわり』と感じ入る